



北陸地方整備局入札監視委員会事務局
資料配付

配布日時	平成29年10月17日 配布をもって解禁
------	-------------------------

北陸地方整備局入札監視委員会第一部会第2回定例会議を開催しました
— 審議概要を公表します —

(※1) (※2)

平成29年度北陸地方整備局入札監視委員会第一部会の第2回定例会議を平成29年9月26日に北陸地方整備局で開催しました。

入札契約の運用状況の報告・審議と平成29年度第一四半期発注工事等の中から委員会が抽出した11件の事案に関し、競争参加資格の設定や競争入札に係る指名の理由・経緯等について審議を行いました。審議の結果、委員会による意見の具申又は勧告はありませんでした。

- ※1 入札及び契約の過程、契約内容の透明性を確保するため、平成6年度から設置された学識経験者等で構成される第三者機関です。
- ※2 第一部会（港湾空港関係事務以外を担当）及び第二部会（港湾空港関係事務を担当）においてそれぞれ四半期毎に開催しています。

同時発表記者クラブ
管内各県記者クラブ

問い合わせ先
新潟市中央区美咲町1-1-1(〒950-8801) 電話025-280-8880(代表)
ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp>
北陸地方整備局入札監視委員会事務局
主任監査官 小柳 俊彦(会議の運営)
契約管理官 小幡 義則(別紙「1 入札・契約手続きの運用状況について」、
「2 抽出事案の審議について」の(役務の提供等及び物品の製造等))
技術開発調整官 山岸 達也(別紙の上記以外)

北陸地方整備局入札監視委員会（第一部会第2回定例会議） 審議概要

開催日及び場所	平成29年9月26日（火） 北陸地方整備局（新潟市中央区美咲町1-1-1）					
委員 （部会委員 5名）	部会長 大川 秀雄（新潟工科大学 学長） 部会長代理 土屋 武（新潟大学 法学部 准教授） 委員 佐藤 綾子（富山国際大学 現代社会学部 准教授） 委員 平石 広佳（弁護士） 委員 細山田得三（長岡技術科学大学 教授 環境社会基盤工学専攻）					
審議対象期間	平成29年4月1日～平成29年6月30日					
報告事項	1 入札・契約手続の運用状況について (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 平成29・30年度 有資格業者登録状況					
審議事項	抽出事案11件（工事6件、建設コンサルタント業務等3件、役務及び物品2件）					
	契約方式	件名	契約業者名	契約年月日	契約金額 （千円）	入札者数
工 事	一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外）	新潟地家裁佐渡支部（17）耐震・内装改修工事	近藤組・伊藤建設（共）	H29.5.9	195,264	1
		H29・30新潟管内維持工事	（株）NIPPPO	H29.4.3	312,552	1
		長岡維持出張所管内維持工事（平成29-30年度）	日瀝道路（株）	H29.4.3	132,840	1
		H29・30黒部管内道路維持工事	道路技術サービス（株）	H29.4.3	162,000	2
		H29-31小黒部谷第2号砂防堰堤工事	大高建設（株）	H29.6.28	268,920	1
		H29能越道 三井IC（ランプ）橋上部工事	（株）北都鉄工	H29.6.26	109,188	4
建設コンサルタント業務等	一般競争入札方式（総合評価落札方式）	平成29・30・31年度信濃川河川事務所妙見堰管理支援業務	（株）建設マネジメント北陸	H29.4.3	325,080	1
	簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）	平成29年度新潟県内橋梁点検等業務	平成29年度新潟県内橋梁点検等業務開発技建・開発技術コンサルタント設計共同体	H29.4.3	200,880	1
	簡易公募型プロポーザル方式	平成29・30年度湯沢砂防事務所事業監理業務	（一社）北陸地域づくり協会	H29.4.14	40,068	-
役務の提供等及び物品の製造等	一般競争入札方式	平成29年度多重無線装置（上の平局外）一式製造	日本無線（株）	H29.6.14	291,600	1
	企画競争方式	平成29年度阿賀川住民参加型河川管理作業	特定非営利活動法人会津阿賀川流域ネットワーク	H29.4.3	54,000	-
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
（備考）	次回定例会議を平成29年12月22日（金）に決定					

意見・質問	回 答
<p>1 入札・契約手続きの運用状況について</p> <p>(1) 入札方式別発注工事一覧及び入札方式別発注建設コンサルタント業務等一覧並びに入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等業務一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設コンサルタント業務等の一般競争入札方式で、総数154件の中、60件の契約締結をしている者がいる。その内、1者入札のものが47件あり、偶然かもしれませんが、非常に多いという印象ですが、背景等を説明いただきたい。 現実的に何者ぐらいが参加できるのですか。 役務の提供等及び物品の製造等に、落札率が36.7%という案件がありますが、これは有効なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約の内容は、工事の監督支援業務や積算の技術業務であるとか、発注者の業務を補助する、発注者支援業務といわれているものです。これについては、民間の参入を促すということで、参加要件は、広く設定していますが、過去に実績がないと、参加が難しいと推察され、なかなか応札者が増えないという状況です。発注のルールは、内閣府及び国土交通省で決めたもので、全国で統一的に運用されております。 289者いることを確認しております。 予定価格が1千万円を超える案件については、低入札調査の対象になりますが、この案件は1千万円を超えないので、調査の対象にならず、落札率が低くても有効となります。
<p>(2) 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 低入札調査基準価格を下回って入札し、その後、低入札価格調査のための資料の提出に協力が得られなかったことから、指名停止になった案件がありますが、入札後でも辞退を申し出れば、指名停止にならないのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでも、低入札者が、資料提出をしないことにより、入札無効になった案件がありましたが、それは総合評価落札方式において、施工体制評価点の評価にあたり、低入札者に追加資料の提出を求めて、提出しなかったために、入札無効となったものです。今回の案件は業務の価格競争であり、低入札価格調査の資料を提出しない場合は、ペナルティーが課せられます。
<p>(3) 談合情報等の対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 入札談合疑義事実について、調査手続きの判断はどのようにされているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 提出された工事費内訳書等を確認し、判断しています。
<p>(4) 再度入札における一位不動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	
<p>(5) 工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	
<p>(6) 平成29・30年度有資格業者登録状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	

意見・質問	回 答
<p>2 抽出事案の審議について</p> <p>(工 事)</p> <p>1 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外) 「新潟地家裁佐渡支部(17)耐震・内装改修工事」 ・特になし。</p>	
<p>「H29・30新潟管内維持工事」</p> <p>・管内維持工事等はこちら数年、毎回1者入札が多いという印象を持っています。以前の委員会でも、区間の長さ、工期、期間についていろいろ工夫をしていると説明をいただいておりますが、今回の抽出案件については、区間の長さ、年数、期間等について特段の検討点等がありましたら、教えてください。</p> <p>・区間について、58.5kmは若干長めという気がしますが、このくらいなのですか。</p>	<p>・区間の長さは、前回と変更はありません。年数についても、2年ということで、従来どおりです。今回変えたのは、競争参加資格の同種工事の実績です。日当たり交通量が2万5千台以上の道路における施工実績を1万台以上の道路における施工実績に変更し、参加しやすくしました。その結果、入札できる可能性のある者は、2倍ぐらいになっているということを確認しています。参加しやすくしたのですが、実際、入札者は1者でした。</p> <p>・当事務所においては、各区間60km前後の出張所の管理区間に合わせて設定しています。</p>
<p>「長岡維持出張所管内維持工事(平成29-30年度)」</p> <p>「H29・30黒部管内道路維持工事」</p> <p>・巡回業務で、請負業者が業務をきちんと履行してくれたかどうかの確認はどのようにするのですか。</p> <p>・1者応札が問題になっていますが、富山県での道路維持工事は、入札者が5者いますが、この違いはどのように考えていますか。</p> <p>・それぞれの管内維持工事の競争参加資格に関する要件設定が微妙に違いますが、要件設定の違いについて特段の理由がありますか。</p>	<p>・巡回が終了したら、請負業者が日報を作成し、私どもに提出します。その日報できちんと履行したかどうかを確認します。</p> <p>・詳しくわかりませんが、黒部管内道路維持工事は、参加可能者数が62者であることは確認してました。今回、たまたま5者が参加してくれました。</p> <p>・長岡維持出張所管内維持工事は、参加可能者数が50者であることは確認していましたが、結果的に1者の参加でした。</p> <p>・基本的に交通量を要件に入れるのが普通ですが、参加者数に不安がある場合は、要件に入れていません。</p>

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等（第一部会第2回定例会議）

意見・質問	回 答
<p>「H29-31 小黒部谷第2号砂防堰堤工事」</p> <p>・特になし。</p>	
<p>「H29 能越道 三井IC（Bランプ）橋上部工事」</p> <p>・工種及びランクの欄に、ランク区分なしと書いてありますが、この工事においてランク区分がないということですか、それとも元々、区分を設定していないということですか。</p> <p>・1者不参加ということですが、不参加の理由を説明してください。</p>	<p>・2年に1回の競争参加資格審査によって有資格者名簿が策定されますが、鋼橋上部工事では、名簿にランク区分がないということです。</p> <p>・不参加の理由はわかりません。結果として、参加資格はあったのですが、入札しませんでした。</p>
<p>（建設コンサルタント業務等）</p> <p>1 一般競争入札方式（総合評価落札方式）</p> <p>「平成29・30・31年度信濃川河川事務所妙見堰管理支援業務」</p> <p>・特になし</p>	
<p>2 簡易公募型競争入札方式（総合評価落札方式）</p> <p>「平成29年度新潟県内橋梁点検等業務」</p> <p>・橋梁の点検は近接目視が原則になったのですか。</p>	<p>・道路法施行規則で、近接目視を5年に1回やると規定されています。</p>
<p>3 簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>「平成29・30年度湯沢砂防事務所事業監理業務」</p> <p>・特になし</p>	

意見・質問	回 答
<p>(役務の提供等及び物品の製造等)</p> <p>1 一般競争入札方式</p> <p>「平成29年度多重無線装置（上の平局外）一式製造」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
<p>2 企画競争方式</p> <p>「平成29年度阿賀川住民参加型河川管理作業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約額5千4百万円の計算根拠を教えてください。 ・資料の入手した者が1者しかいませんが、事前に確認した参加要件を満たす者は何者ですか。 ・業務には、草を刈るだけではなく、その後に堤防の点検をすることも含まれているのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・80kmの堤防の除草を年間2回します。面積で20万平方メートルぐらいです。40工区に分けて、それぞれ地域の集落の方が除草します。ほとんどが労務費です。積算は、除草の積算基準を使ってやっています。 ・この案件は役務の提供です。工事、設計業務は受注実績を登録するシステムがあり、それで参加要件を満たす者の確認ができますが、役務の提供はシステムがなく、確認できません。しかし、参加要件の同種業務の実績は、国、市町村等が発注した河川、道路、公園等の公共施設の除草作業又は清掃作業等ですので、参加要件を満たす者は、かなりいると推察されます。 ・点検支援ということで、毎日、近くの皆さんが、堤防をみて、草刈りをして、その時に堤防に変状があれば、それを、私どもにすぐ報告していただく。それに基づいて判断は、私どもが行います。特別な技術は求めておりません。